



一発合格者 INTERVIEW

小泉予備校 一発合格者
福島 良太さん

小泉予備校は、答練がすごく充実しています。
問題数が豊富で、「実践力」を磨くことができました。

迷うことなく勉強を続ける
ことができました。

小泉先生の講義はとても聞き取りやすく、情報量が多過ぎず、大切な事をしっかりと二つ三つ押さえてくれる授業だったので、「どこを覚えればいいのか?」「何をすればいいのか?」「何をすればいいのだろうか?」と迷うことなく勉強を続けることができました。実際に受講してみて感じたことは、答練の問題、解説がすごく充実していることです。成績処理がスピーディーで、試験結果が次の日にはインターネット上で確認でき、自分の順位は勿論他の受験生の実力も知ることができたので、やる気にさせられたなと思います。記述問題が大変豊富で、多くの問題に触れることができたので、記述式における「実践力」を磨くことができました。これは、とても自信に繋がったと思います。使用するテキストはレジメ形式なので、長い文章を読むのが苦手な人には、とても理解しやすいと思います。イラスト等が多く、コンパクトに大事な要点がまとまっているので、テキストを読み進めていく時間、復習で読み返す時間がかかり短縮できると思います。教材は全てPDF版でダウンロードができるので、苦手な箇所などは一枚に印刷して、見直したり、持ち歩いたりしていました。

直前期の記述式学習

不動産登記法や商業登記法の
記述問題(本試験形式のもの)を
1問題ずつ毎日解く

直前2ヶ月で全ての問題を解く!

POINT

記述式の解き方のルールを
押さえながら問題に取り組む

配点表を参考に自己採点
「どれくらいできたか?」をチェック

フィードバックして弱点をフォロー

小泉予備校の答練の良さは何と言っても「記述問題が豊富にある点」だと思います。直前期になると、不動産登記法や商業登記法の記述問題(本試験形式のもの)を1問題ずつ毎日解いていました。本試験モデル答練の実力養成ステージ、ファイナルステージに記述問題があるのですが、それだけではなく記述式対策講座の基礎編と実践編も含めて全部の問題を、直前の2ヶ月くらいで全て解き切りました。それだけの問題を解くことで、かなり自信になりましたね。記述式の解き方のルールを押さえながら、実力を高めていくことができました。解説と一緒に配点表が記載されていて、「これが書けていたら何点」というふうに明確化されているので、とても分かりやすかったです。問題のフォーマットが本試験で使われるものと全く同じで、問題文の読み方から、答えの書き方まで全てをしっかりと学ぶことができました。私の場合、直前期になっても、解答をしっかりと書けることは少なかったのですが、「本番で間違えずに済んで良かった!」と思うようにして、前向きに学習を続けていたのが合格レベルに達した要因のかなと思います。

私の学習法 記述式対策について



小泉予備校の記述問題を、直前の2ヶ月で
全て解き切りました。

苦しい時も淡々と自分が決めた学習計画を進めていくこと。
これが壁を乗り越えていくためにとても大切です。

直前期がとても重要。年が明けてから試験までの時間をどう過ごすのか? 合格するためには、直前期の勉強がとても重要です。年が明けてから試験までの時間をどう過ごすか? 答練のファイナルステージは午前科目、午後科目、記述、という順番になっているのですが、私の場合は、そのスケジュールに合わせて学習しました。最初の1週間は午前科目を学習する、次の1週間は午後科目、さらに次の週は、記述を...のように自分の学習スケジュールを調整していき、なおかつ自分の点数をチェックして順位を確認していき、学習を続ける中で、壁に直面したと思ったことは、たくさんありました。最初の壁は会社法の学習で、暗記しないといけない要点が全く頭に入っていない時期がありました。あと、自分の成績が合格ラインに近づいてきたと思えた頃にも壁を感じました。「本当に本番で合格点を取れるのだろうか?」と不安になったりして...でも、こういう時は、「合格している人がたくさんいる訳だから、自分も絶対に合格できる!」と思うようにしました。自分を追い込みすぎずに、苦しい時も淡々と自分が決めた学習計画を進めていく。これが司法書士合格という壁を乗り越えていくために大切だと思います。